

■平成30年度 第1回社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会の概要

- ・実施日：平成30年10月16日（火） 開催
- ・主な議事：
 - ①地域の状況、地域の課題、交通状況の分析
 - ②政策目標(案)の設定
 - ③地域への意見聴取方法(案)

■平成30年度 第1回社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会での 主な指摘事項と対応状況

指摘事項		対応状況
【意見聴取方法について】		
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 五差路を通過する方々のニーズをとらえるために、工場等に通勤で利用する方に対しても意見を伺ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業団地内の民間企業にヒアリング調査を実施。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車通学で利用するなどに関わる学校関係も、ヒアリング対象として追加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺の小・中・高等学校にヒアリング調査を実施。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対策案については、早々に市民や関係者にわかりやすく情報提供した方がよい。 ・ 計画段階評価の従来方式にとらわれず、市と国が一体となって市民等への情報提供を工夫して実施した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞広告、市報、自治会回覧板等により、意見聴取の実施を周知。 ・ 市、県、国の共催による「オープンハウス」を2回実施
【政策目標(案)について】		
政策目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策目標の欄に「道路」、「その他」とあり、それぞれ「国」、「前橋市」となっているが共通する項目もあるので、共通項目は一緒にやっていく表現にした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自動車交通の視点」、「歩行者・自転車の視点」、「まちづくりの視点」を踏まえた政策目標(案)を設定。

1. 地域の意見聴取(第1回)の内容について

1-1.意見聴取の実施状況

■意見聴取の実施期間：平成30年12月14日(金)～平成31年1月31日(木)

■調査票の配布(住民等)

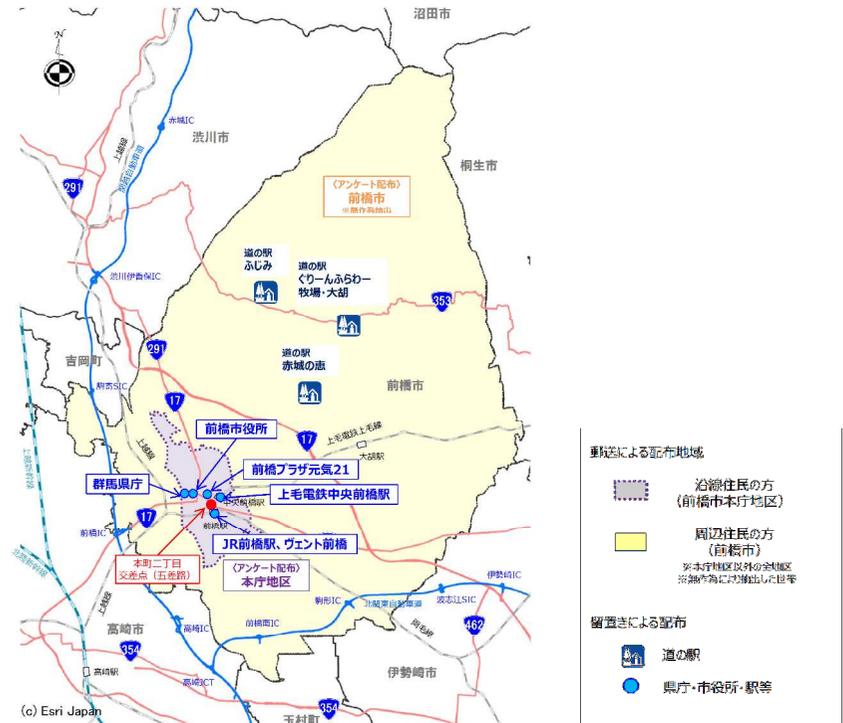
住民等			
アンケート調査	配布数	回収数	
郵送	本庁地区(全戸配布)	30,467部	5,041部(17%)
	前橋市(本庁地区除く)(抽出配布)	5,000部	1,288部(26%)
留置き	739部	148部(20%)	
郵送・留置き 計		6,477部(18%)	
WEB		608部	

※留置きの配布数は、設置部数(900)と撤去時回収分(161)の差分

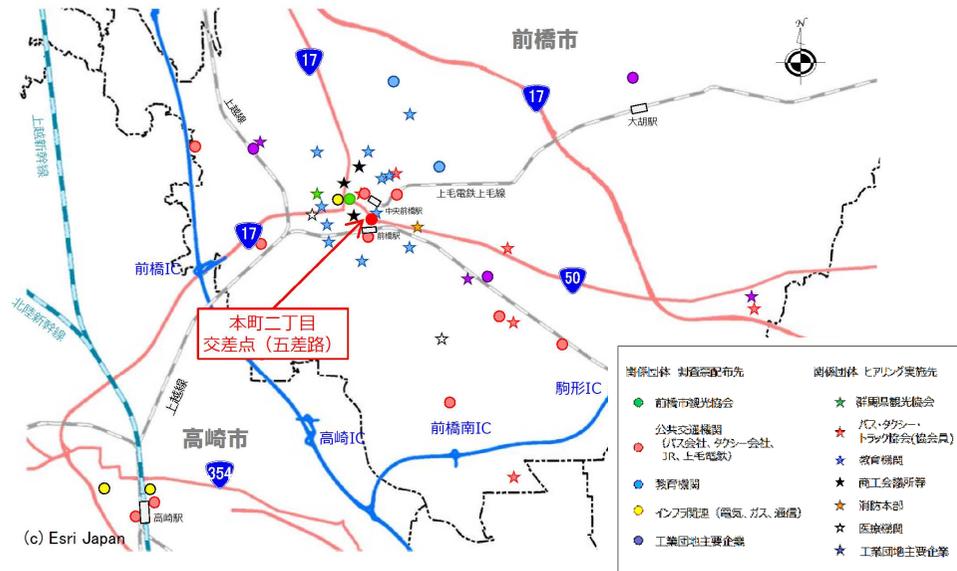
■調査票の配布とヒアリング調査(関係団体)

関係団体	実施状況
アンケート調査	前橋市観光協会、バス会社、タクシー会社、JR、上毛電鉄、教育機関、インフラ関連、工業団地主要企業 20部
ヒアリング調査	群馬県バス協会 1
	群馬県タクシー協会(協会会員：民間企業) 2
	群馬県トラック協会(協会会員：民間企業) 3
	前橋商工会議所、商店街組合 3
	群馬県観光協会 1
	前橋市消防局 1
	医療機関(救急病院) 2
	教育機関(小・中学校、高校) 11
	工業団地主要企業(民間企業) 3
	合計 27

■調査票の配布範囲(住民等)



■調査票配布先・ヒアリング実施先(関係団体)



1-3.地域懇談会の開催

○本町二丁目交差点(五差路)及びその周辺の改良に際して、安全で安心して移動できるにぎわいと魅力を感じるまちづくりの実現と、地域の産業・経済の発展、利便性及び福祉の向上を図るための検討を行うため、「本町二丁目交差点(五差路)周辺における地域懇談会」を開催。

■地域懇談会の開催概要

○日時:平成30年12月11日(火) 10:00~11:45

○場所:ヤマダグリーンドーム前橋 101会議室

■地域懇談会の委員

役職	職名	備考
会長	前橋工科大学 名誉教授	学識者
副会長	前橋市自治会連合会会長	自治会
〃	前橋工科大学 工学部教授	学識者
〃	前橋市副市長	前橋市
委員	前橋市 自治会長(9名)	自治会
〃	前橋商工会議所(5名)	商工関係
〃	前橋街づくり協議会会長	商工関係
〃	前橋中心商店街協同組合理事長	商工関係
〃	前橋駅前通り商工会長	商工関係
〃	国土交通省高崎河川国道事務所長	国土交通省
〃	群馬県県土整備部都市計画課長	群馬県
〃	前橋市政策部長	前橋市
〃	前橋市都市計画部長	前橋市
〃	前橋市教育委員会事務局指導担当次長	前橋市

開催状況写真



■地域懇談会における主な意見

本町二丁目交差点(五差路)周辺の現状

- 高齢者や荷物を持った人は特に歩道橋が使いづらく、迂回している。
- 交通量が多い道路が居住地域にあり、騒音や排ガスの課題があるため、早急に対策を検討してほしい。
- スピードを出して通過する大型車もあり、事故発生の不安がある。
- 初めて前橋に訪れた人も、国道50号が地域や人の移動を分断していると感じる。

本町二丁目交差点(五差路)の計画に対する要望・提案

- ラウンドアバウトの適用可能性についての検討が必要。
- 車ではなく、交差点を使う人を中心に計画を検討してもらいたい。
- 歩行者側の視点で、歩道橋を取り除いた交差点や歩車分離信号の導入について検討してほしい。
- 歩道橋へのエレベーターの設置等、バリアフリー対策を実施してほしい。
- 改良までの間、暫定的に周辺の他の道路に交通を誘導することは可能かを検討してほしい。
- 周辺道路の容量がオーバーし、交通が飽和してしまう可能性も考えられるため、現状の道路ネットワークのまま、迂回させるのは難しい可能性がある。
- 地域の分断や、多額の費用を投資する工事になると思われるため、市民の意見をよく聞いて進めてもらいたい。
- 立体化の場合、出入口付近の横断に課題が発生するなど、今後、改良案を提示する際は、メリットとデメリットを示してほしい。
- 関係者が一致団結して、積極的に国への要望活動を行うべき。

第1回意見聴取の実施方法

- 第1回意見聴取アンケートの留置き場所について、JR前橋駅や中央前橋駅、観光案内所等にも設置してもらいたい。

<キーワード>
<現状・課題>

まちの魅力

にぎわい・周遊

アクセス機能

○郊外への人口流出、魅力の喪失

○まちなか空洞化の進行

○移動しづらい環境、公共交通の衰退

<方向性>

<方向性>

新たな交流環境・拠点づくり

○既存施設の活用や新規整備を組み合わせ、如何なる『**まちの魅力**』を創出するか
[前橋市市街地総合再生計画 (H27.5)]

にぎわい・周遊を促進

○「まちの魅力」と「アクセス機能」を連動して如何なる『**にぎわい・周遊**』を生み出すか

多様な交通手段の選択

○「まちの魅力」へ最適モードで誘導するため、如何なる『**アクセス機能**』を構築するか
[前橋市 地域公共交通網形成計画(H30.3)]

～中心市街地～

- 新たにぎわいの発信拠点づくり
- 駅の利便性の向上と鉄道利用増進のための施設整備
- 河畔環境と調和する都市景観の形成
- 県都として落ち着きのある空間と優れた都市景観の形成

～本町二丁目交差点～

- 交差点の整備
- 交通結節機能の強化
- 周辺建築物との一体的整備

ターゲット

- > 居住地 (中心市街地周辺/郊外/周辺市町村/県外)
- > 目的 (生活/業務/観光)
- > 年齢層 (若者/中間/高齢者)

連鎖を生む仕掛け (動線)

- > 官民コンセンサス(市民/企業/学識)
 - ～都市機能更新と居住促進(学生向け賃貸補助/シェアハウス)
 - ～中心市街地空洞化対策(店舗閉店まか)
 - ～商店街機能の再生支援(中央通り大学まか)
 - ～地産地消連携の飲食イベント事業の推進(オトガフェスタ)
 - ～デザイン啓発まちづくりの推進(けやき並木フェス/けやき加川)
- > アクセス施設(サイクルポート/駅/バス停/駐車場)
 - ～コア施設(大規模商業施設/文化施設)
 - ～コンバージョン施設(休憩施設/宿泊施設)
 - ～発見的施設(古き良き街並み/オシャレな店舗)

段階的・発展的なシナリオ

個別プロジェクト

- サイクリングの推進<官民>【実施中】
- バス路線(広域・都心)再編<官民>【検討中】
- 地域内交通の導入<官民>【検討中】
- コミュニティ以外の充実<官民>【事業中】

個別プロジェクト

- 表町218地区優建<民>【完了】
- 本町213-2地区優建<民>【事業中】
- 城東町111地区優建<民>【事業中】
- JR前橋駅北口地区市街地再開発事業<官民>【事業中】
- 広瀬川河畔緑地整備<官>【事業中】
- 広瀬川河畔景観形成(景観形成重点地区)<官民>【事業中】
- ホテル白木屋<民>【事業中】

フェーズ

- 0～5年
 - 千代田町中心拠点地区市街地再開発事業(スナバ百貨店などまちの拠点整備)<官民>【検討中】
- 5～10年
 - 本町二丁目交差点リノビア<官民>【構想】
 - コガ外シヤの形成(立地適正化計画)<官民>【計画策定済】
 - 中心市街地の都市景観形成<官民>【構想】

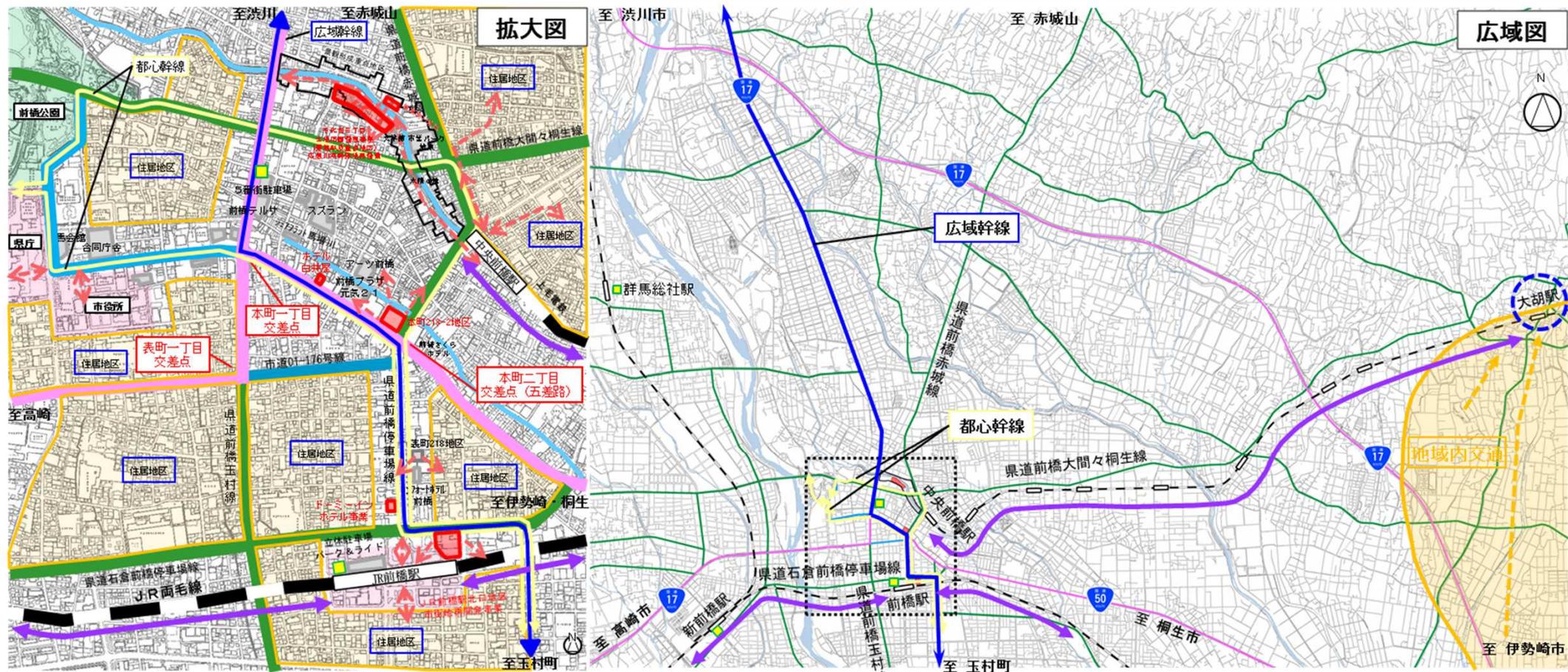
フェーズ

- 0～5年
 - まちの危機感をバネに官民連携による意識改革
 - にぎわい再生が、更なる工夫を喚起
 - 店舗、企業の誘致による中心市街地空洞化対策の実施
- 5～10年
 - 市内・周辺市から、まちの核施設へ「交流機会」創出
 - まちの核施設から、散在する魅力へ「周遊」促進
 - 新たな人の流れが新たなにぎわいを形成
- 10～15年
 - 面的に広がる前橋の魅力へ、県内外から訪問
 - 訪問者は最適交通モードで「周遊」展開(面的)
 - 時代の変化に柔軟に対応した持続型のまち

フェーズ

- 0～5年
 - 自動運転バス導入<官民>【検討中】
 - 駐車場マネジメント<官民>【構想】
 - P&R、P&B、C&Bの充実<官民>【構想】
- 5～10年
 - 本町二丁目交差点改良<官>【構想】
 - 新たな交通手段(BRT等)の導入<官民>【構想】
 - 歩行者・自転車利用環境の改善<官民>【構想】

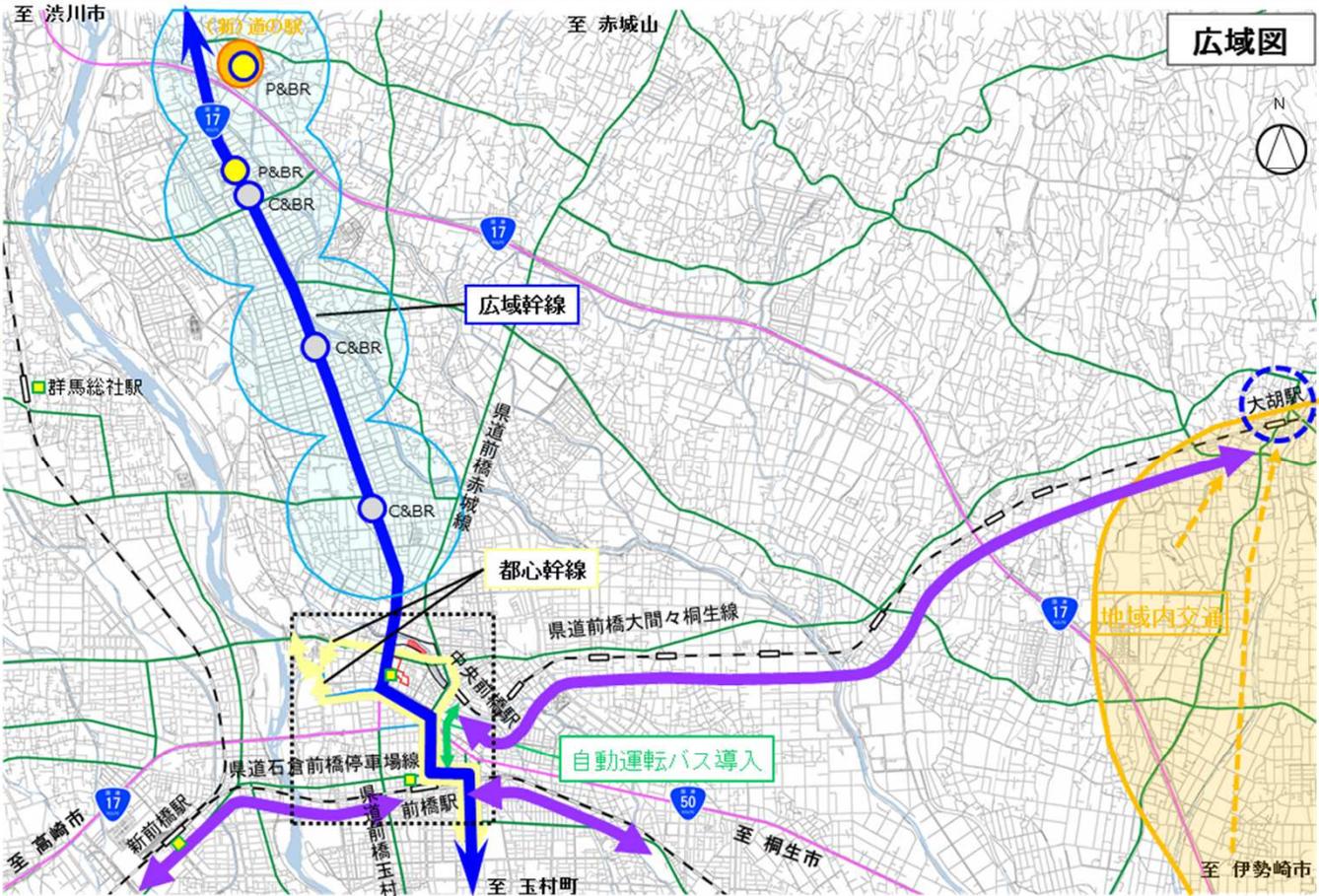
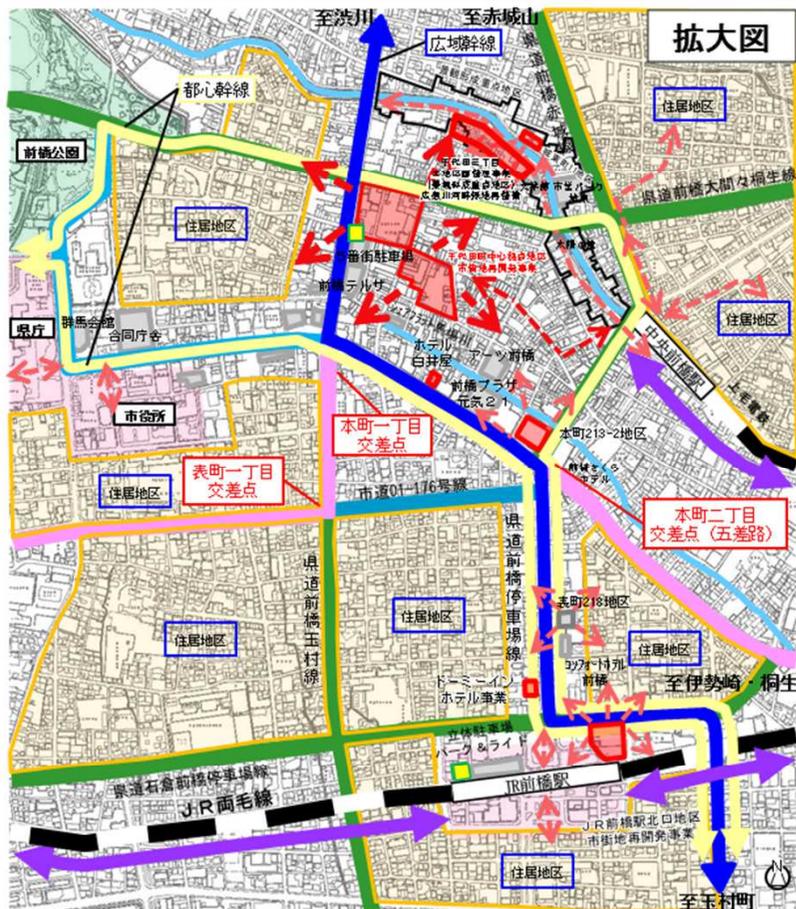
段階的・発展的なシナリオ[F I]イメージ



凡例

	鉄道		コミュニティサイクル
	バス経路(広域幹線)		事業中
	バス路線(都心幹線)		完成済
	歩行者移動(FI)		

段階的・発展的なシナリオ[FⅡ]イメージ

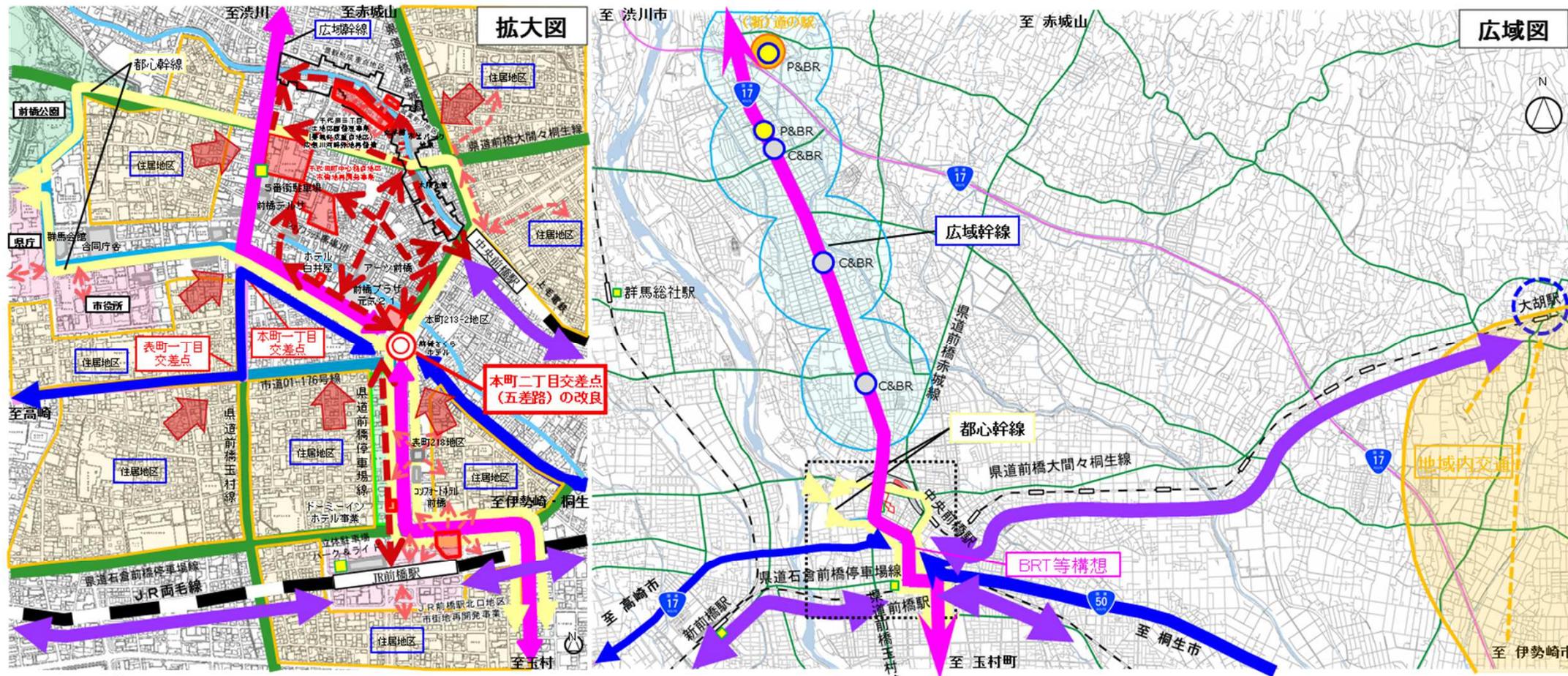


<個別プロジェクト>



凡例			
↔ (Blue)	鉄道	■ (Green)	コミュニティサイクル
↔ (Blue)	バス経路 (広域幹線)	■ (Red)	事業中、完成(FⅠ)
↔ (Yellow)	バス路線 (都心幹線)	■ (Grey)	完成済
○ (Cyan)	サイクル&バスライド パーク&バスライド	↔ (Red dashed)	歩行者移動(FⅠ)
○ (Blue)	サイクル&バスライド (拠点施設)	↔ (Red dashed)	歩行者移動(FⅡ)
○ (Yellow)	パーク&バスライド (拠点施設)		

段階的・発展的なシナリオ[FⅢ]イメージ



<個別プロジェクト>

イメージ図

○新たな交通システム（BRT等）の導入
＜官民＞【構想】

イメージ図

○歩行者・自転車利用環境の改善
＜官民＞【構想】

イメージ図

○中心市街地の都市景観形成
＜官民＞【構想】

凡例

←→ (紫)	鉄道	■ (黄)	コミュニティサイクル
←→ (青)	バス経路（広域幹線）	■ (赤)	完成(FI・FII)
←→ (黄)	バス路線（都心幹線）	■ (灰)	完成済
○ (青)	サイクル&バスライド パーク&バスライド	◎ (赤)	交差点改良
○ (紫)	サイクル&バスライド （拠点施設）	←→ (赤)	歩行者移動(FI)
○ (黄)	パーク&バスライド （拠点施設）	←→ (紫)	歩行者移動(FII)
		←→ (黄)	歩行者移動(FIII)

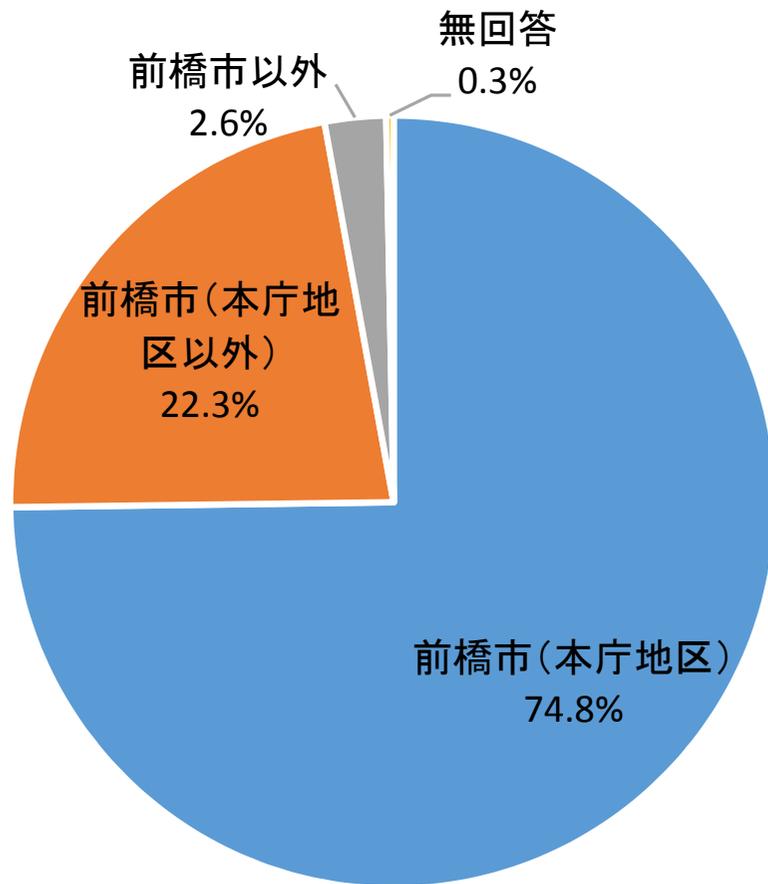
2. 地域の意見聴取(第1回)の結果について

2-1.地域への情報提供

- 「地域の意見聴取」の全回収数は7,085人で、郵送・留置き 6,477人、Web 608人が回答。
- 回答者の地域区分は、前橋市(本庁地区)約7割、前橋市(本庁地区以外)約2割。

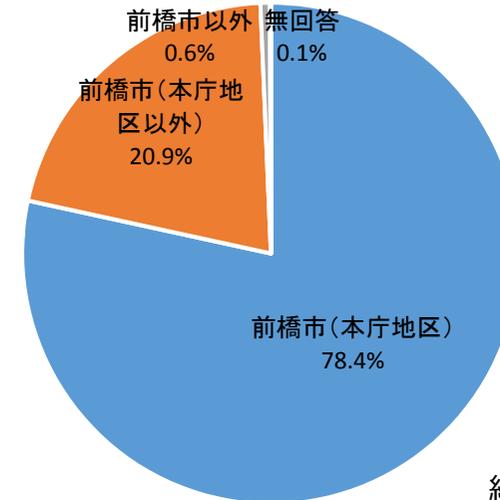
住民アンケート回答者の地域区分について

【居住地】



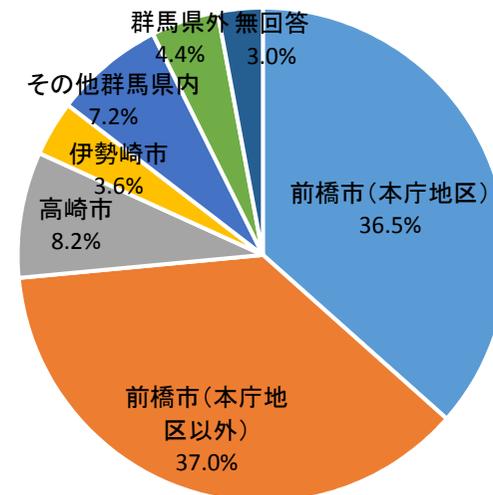
総回答者数 7,085人

〈参考〉：居住地(郵送・留置き)



総回答者数 6,477人

〈参考〉：居住地(WEB)



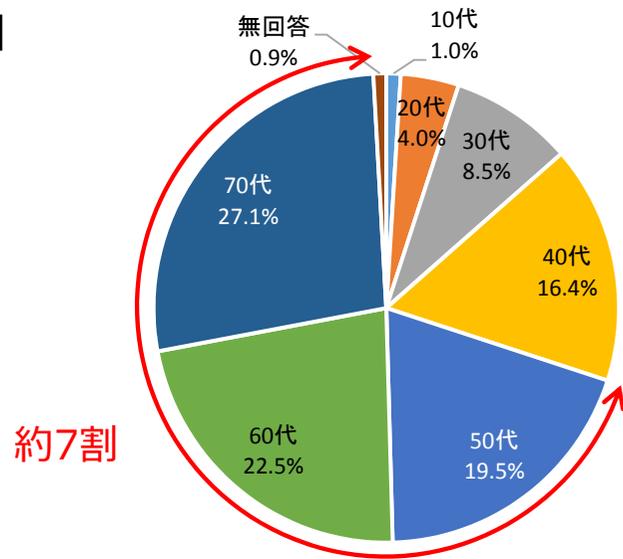
総回答者数 608人

2-2.意見聴取の結果(地域区分・属性)

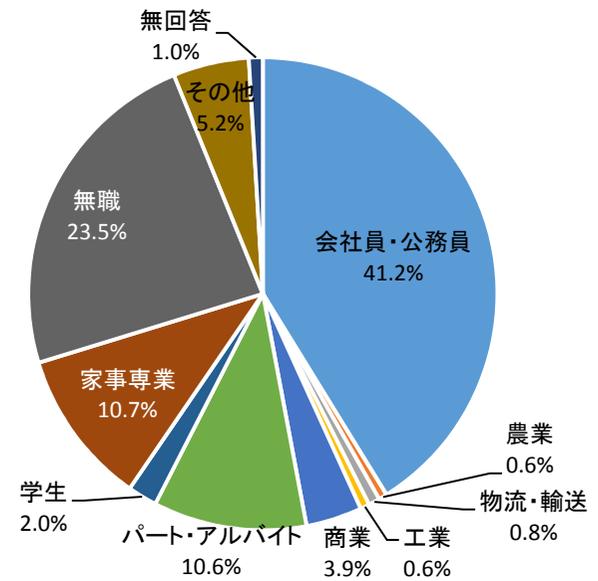
○50代以上の回答率が約7割と高く、約9割の回答者が運転免許を保有。性別は、女性に比べ、男性が若干多い傾向。

住民アンケート回答者の属性について

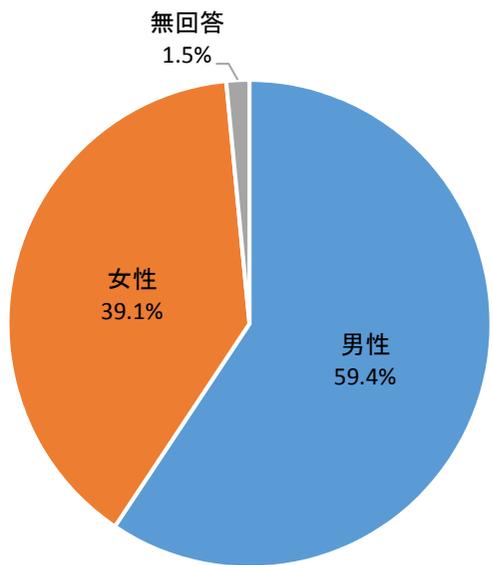
【年齢】



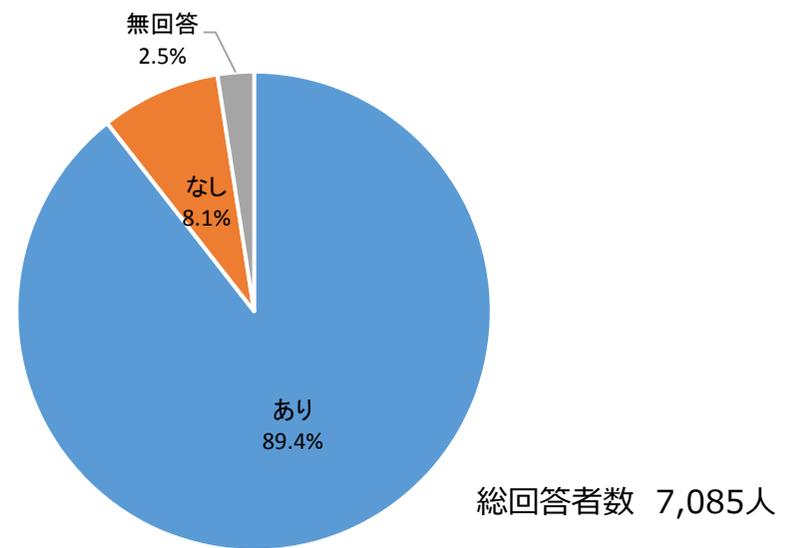
【職業】



【性別】



【運転免許】



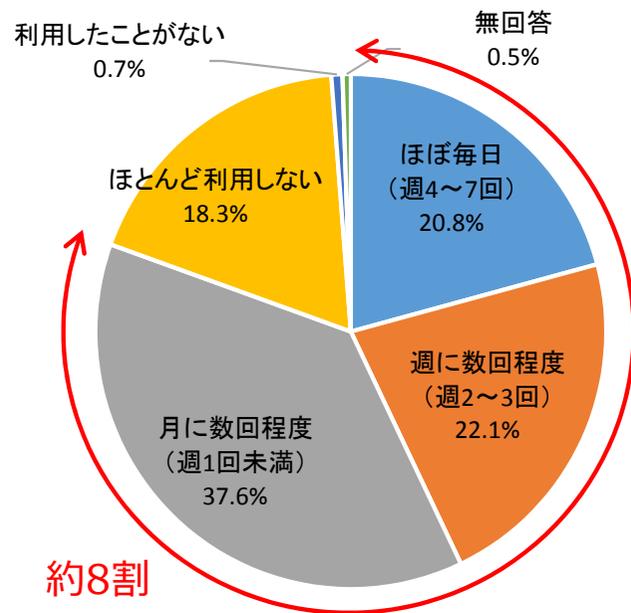
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

2-3.意見聴取の結果(利用頻度・目的・手段)

- 回答者の約8割が前橋中心市街地を「月に数回程度」以上利用と回答。
- 総回答者数の約7割が「自動車」、約2割が「自転車」「徒歩」と回答。
- 総回答者数の約5割が「日常的な買い物・食事」最も多く、次いで、約1割が「通勤・通学」と回答。

中心市街地の利用頻度について

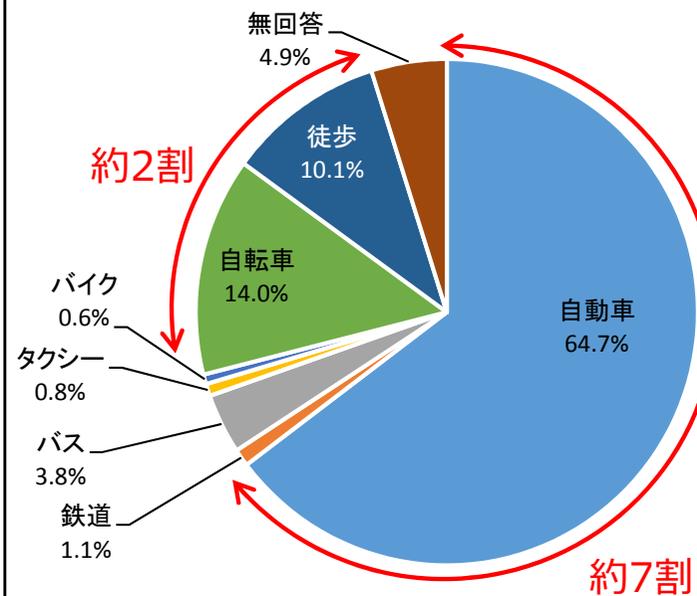
【問1】ふだん、前橋中心市街地にはどの位の頻度で訪れますか？
(単一回答)



総回答者数 7,085人

中心市街地への移動手段について

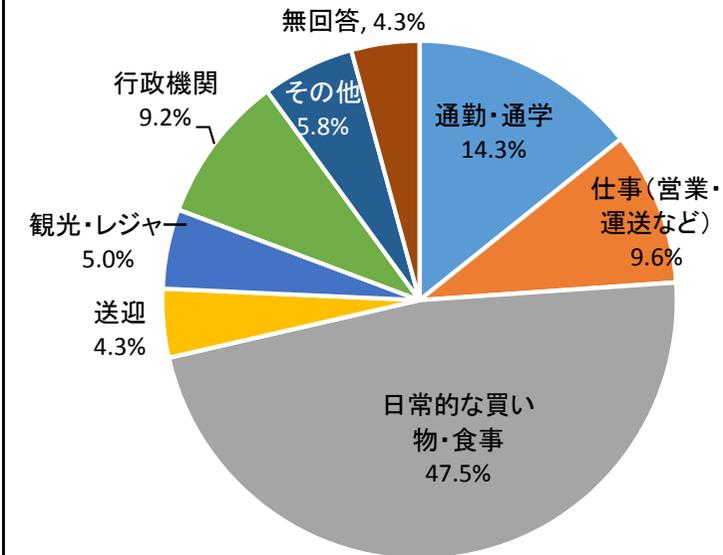
【問2】前橋中心市街地を訪れる際に利用する主な移動手段は何ですか？
(単一回答)



総回答者数 7,085人

中心市街地の利用目的について

【問3】前橋中心市街地へ訪れる目的は何ですか？
(単一回答)



総回答者数 7,085人

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

2-4.意見聴取の結果(中心市街地の今後の取り組みについて)

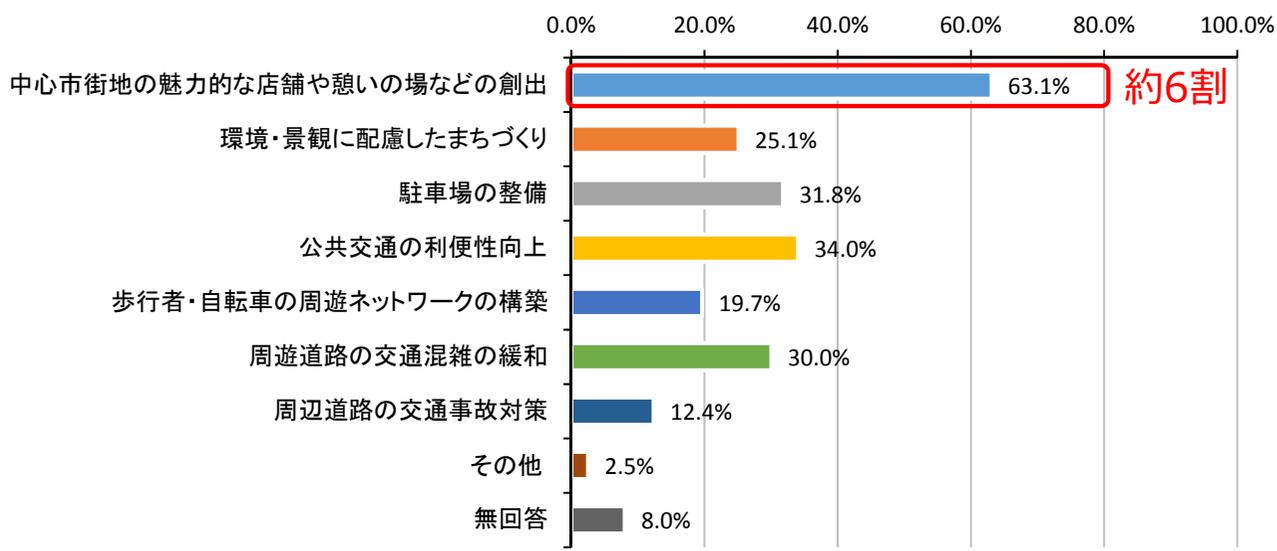
○前橋中心市街地周辺について今後必要な取り組みでは、「中心市街地の魅力的な店舗や憩いの場などの創出」が約6割と最も多く、次いで「公共交通の利便性向上」「駐車場の整備」「周辺道路の混雑の緩和」がそれぞれ約3割。
 ○本町二丁目交差点(五差路)の道路整備の必要性については、約8割が「必要」と回答。

中心市街地の今後の取り組みについて

【問4】前橋中心市街地周辺について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか？

(複数回答)

〈全回答〉



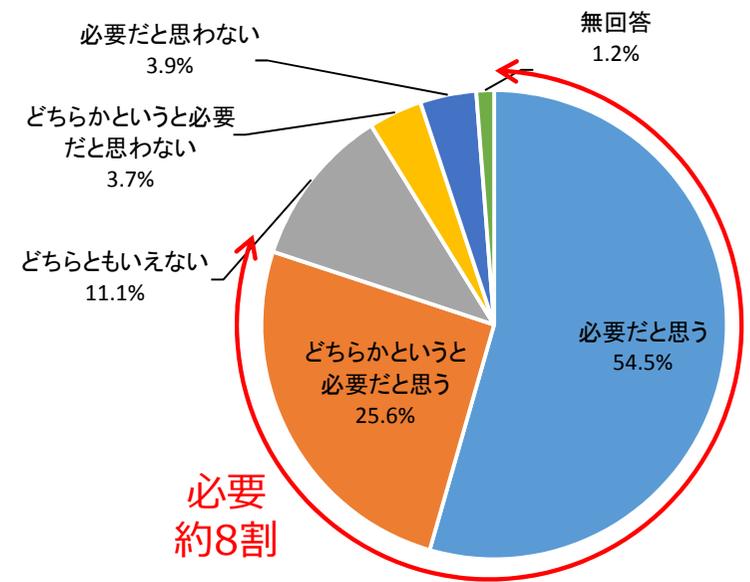
総回答者数 7,085人

※割合は総回答者数に対する当該選択肢を選択した回答者の割合。
 複数回答のため、選択肢毎の割合の合計は100%を上回る。

【問7】本町二丁目交差点(五差路)の道路整備は必要だと思いますか？

(単一回答)

〈全回答〉



総回答者数 7,085人

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

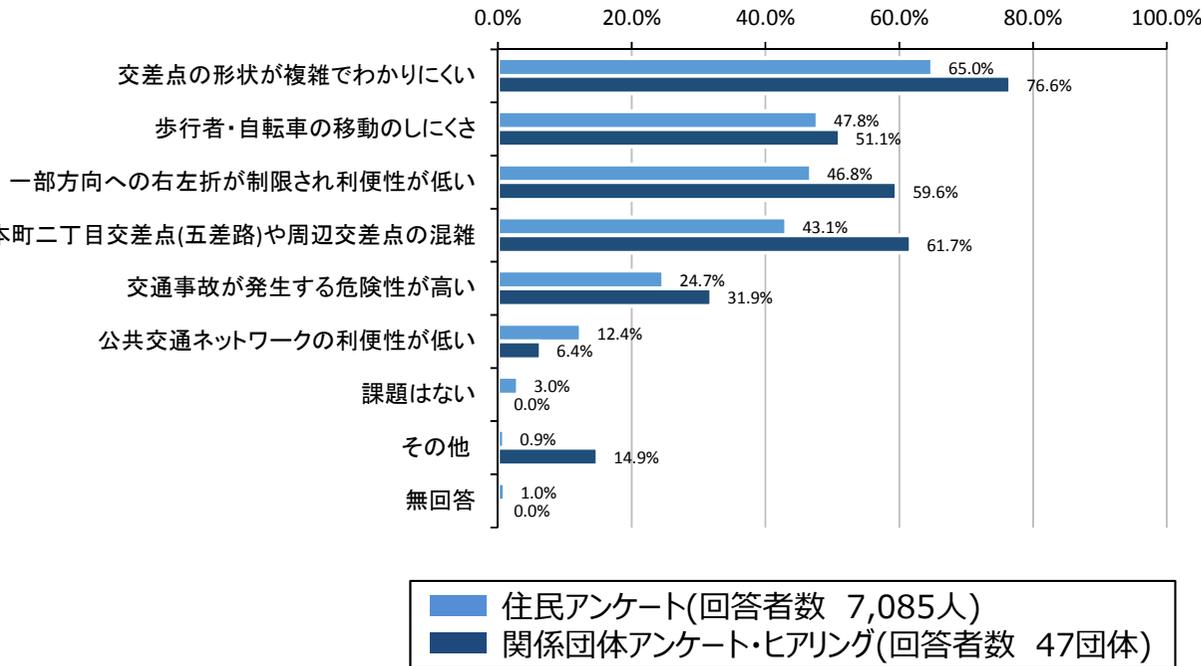
3. 課題、政策目標の設定

3-1.意見聴取結果による本町二丁目交差点(五差路)の「課題」

○自動車交通、歩行者・自転車、まちづくりの各視点から、「わかりやすさ」、「利便性」、「安全性」等、幅広い課題認識を確認。

■意見聴取結果による「本町二丁目交差点(五差路)」の課題

■意見聴取で寄せられた具体的な意見



	主な意見	件数
自動車交通	初めての人には分かりにくい。	197件
	国道50号の桐生方面から中央前橋駅方面に右折できず不便。	94件
	信号、標識、路面標示が見えにくい。よく分からない。	86件
	青信号が短い。信号の待ち時間が長い。	84件
	事故の危険性がある。通行するのが不安。	68件
	市道(高崎方面)から中央前橋駅方面に左折できず不便。	52件
	朝夕の通勤時は混雑する。前橋駅→中央前橋駅方面が混雑。	41件
歩行者・自転車	歩道橋は撤去してほしい。歩道橋の老朽化。	194件
	歩行者にとって危険。歩きにくい。	50件
	自転車にとって不便。自転車で走るのは危険。	41件
	自転車横断帯が一部にしかない。	7件
まちづくり	市街地が過疎化。まちに活気がない。	23件
	五差路交差点でまちが分断。駅と中心市街地が離れている。	19件
	公共交通が不便。前橋駅～中央前橋駅の接続が悪い。	7件

※割合は総回答者数に対する当該選択肢を選択した回答者の割合。複数回答のため、選択肢毎の割合の合計は100%を上回る。

住民アンケート(回答者数 3,643人)

※自由意見回答者数

【本町二丁目交差点(五差路)における課題】

自動車交通の視点

- 複雑でわかりにくい交差点形状
- 右左折規制による利便性の低下
- 本町二丁目交差点(五差路)周辺の混雑
- 交通事故の危険性

歩行者・自転車交通の視点

- 歩行者・自転車の移動のしにくさ
 - ・歩道橋の快適性・安全性
 - ・自転車横断帯の快適性・安全性
- 交通事故の危険性

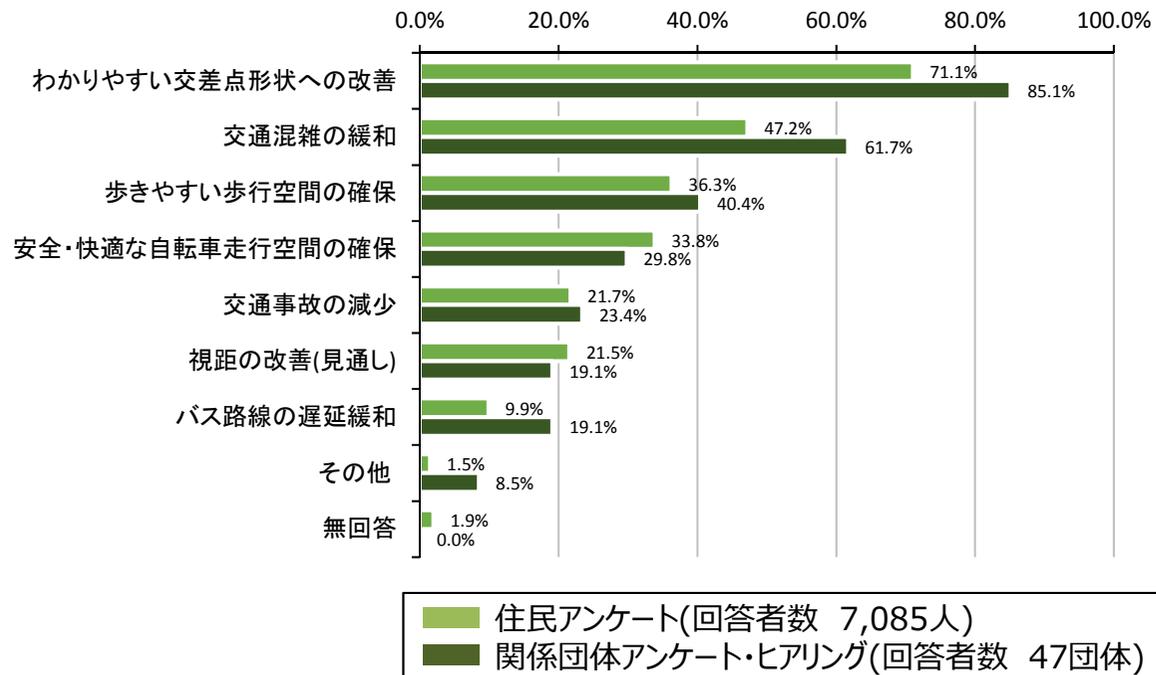
まちづくりの視点

- 中心市街地の活性化
- まちの一体性の欠如
- 公共交通の利便性の低さ

3-2.意見聴取結果による本町二丁目交差点(五差路)の「政策目標」

○課題の解決を政策目標とすべきとの回答のほか、将来のまちづくりとの連携を期待する声が多い。

■意見聴取結果による「本町二丁目交差点(五差路)」の政策目標



※割合は総回答者数に対する当該選択肢を選択した回答者の割合。
複数回答のため、選択肢毎の割合の合計は100%を上回る。

■意見聴取で寄せられた具体的な意見

	主な意見	件数
自動車交通	全ての道路から右左折できる、分かりやすい交差点にしてほしい。	365件
	渋滞を緩和し、スムーズに通行できるようにしてほしい。	252件
	安全で通りやすく、事故の起きにくい交差点を整備してほしい。	152件
	周辺の交差点を含めた改良・整備をしてほしい。	78件
	ラウンドアバウトにしてほしい。	63件
	道路を広くしてほしい。車線を増やしてほしい。	35件
歩行者・自転車	身体の不自由な人でも、スムーズに通行できる歩きやすい歩道を整備してほしい。	247件
	自転車優先の道路を整備し、安全に通行できるようにしてほしい。	131件
まちづくり	中心市街地の活性化に期待。まちの賑わいを取り戻してほしい。	188件
	公共交通の利便性を向上してほしい。	99件
	まちづくりや再開発と一体性をもってほしい。	88件
	新交通システム、LRT、モノレール等の整備に期待。	28件

住民アンケート(回答者数 3,643人)

※自由意見回答者数

【本町二丁目交差点(五差路)の課題を解決するための政策目標】

自動車交通の視点

- わかりやすい交差点の形状
- 交通混雑の緩和
- 交通事故の減少

歩行者・自転車交通の視点

- 歩きやすい歩行空間(横断歩道橋の見直し)
- 安全で快適な自転車走行空間
- 交通事故の減少(歩車分離)
- 視距(見通し)の改善

まちづくりの視点

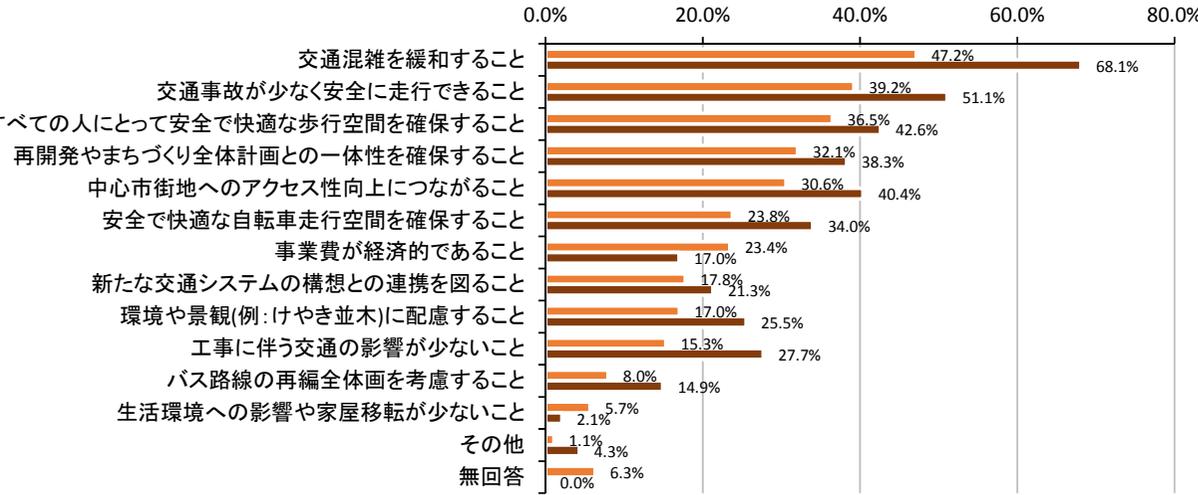
- 中心市街地の活性化
- まちづくり・再開発との一体性
- 公共交通の利便性向上

3-3.意見聴取結果による対策を検討する際の「配慮すべき事項」

○政策目標の実現に加えコスト意識や施工中への配慮を望む声が多い。

■意見聴取結果による対策を検討する際の配慮すべき事項

■意見聴取で寄せられた具体的な意見



■ 住民アンケート(回答者数 7,085人)
■ 関係団体アンケート・ヒアリング(回答者数 47団体)

※割合は総回答者数に対する当該選択肢を選択した回答者の割合。複数回答のため、選択肢毎の割合の合計は100%を上回る。

	主な意見	件数
自動車交通	工事中の渋滞が心配。工事期間は短くしてほしい。	266件
	早期に着工してほしい。早く実施してほしい。	61件
	整備後に渋滞や事故が悪化しないか心配。	33件
歩行者・自転車	歩道橋へのスロープや昇降機の設置してほしい。	51件
	歩道橋は必要。歩道橋を改良してほしい。	40件
	地下道またはペDESTリアンデッキを整備してほしい。	35件
	スクランブル信号や歩車分離信号にしてほしい。	15件
まちづくり	環境や景観に配慮してほしい。ケヤキ並木は保全してほしい。	105件
	将来を見据えた整備をしてほしい。	17件
	家屋移転はなるべく少なくしてほしい。	14件
その他	事業費はできるだけ安くしてほしい。無駄遣いのないようにしてほしい。	191件
	中途半端な整備にならないようにしてほしい。	22件
	市民の意見を反映してほしい。よく検討してほしい。	16件

住民アンケート(回答者数 3,643人) ※自由意見回答者数

【本町二丁目交差点(五差路)の対策を検討する際の配慮すべき事項】

自動車交通の視点

- 政策目標の達成
 - ・交通混雑の緩和
 - ・交通事故の減少
- 工事中の交通に及ぼす影響

歩行者・自転車交通の視点

- 政策目標の達成
 - ・安全・快適な歩行空間の確保
 - ・通行しやすい自転車走行空間
- 歩車分離や補助施設の整備

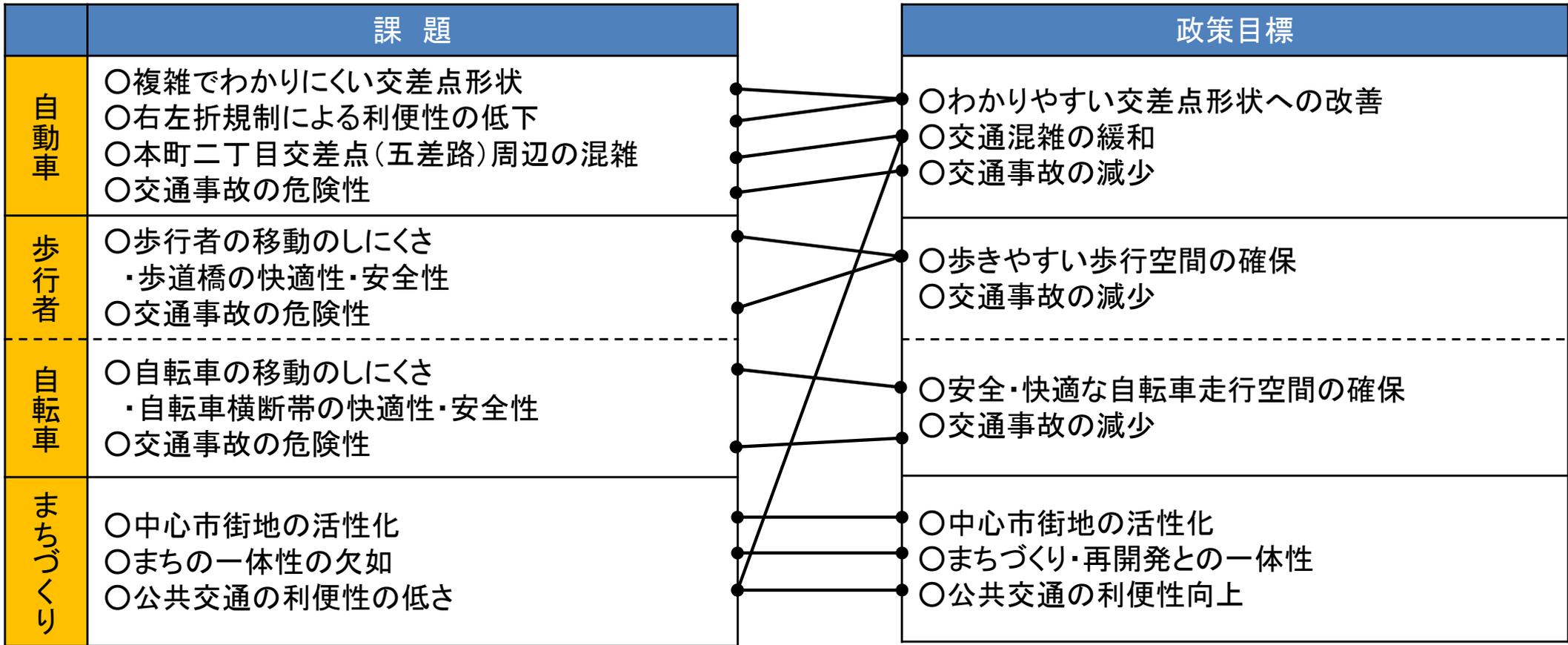
まちづくりの視点

- 環境・景観の保全

共通事項

- 将来を見据えた整備
- 事業費・経済性の確保

3-4.アンケート、ヒアリング結果のまとめ



	配慮事項
自動車	○政策目標の達成(交通混雑の緩和、交通事故の減少) ○工事中の交通に及ぼす影響
歩行者	○政策目標の達成(安全・快適な歩行空間の確保) ○歩車分離や補助施設(昇降機等)の整備
自転車	○政策目標の達成(通行しやすい自転車走行空間の確保)
まちづくり	○環境景観の保全
共通事項	○将来を見据えた整備 ○事業費・経済性の確保